

ZYX R100-EX の導入(6) —他カートリッジとの比較試聴(3)—

1. はじめに

[前報\(5\)](#)に引き続き、今回導入した ZYX R100-EX の特徴がどのようなものか、現有のカートリッジとの比較試聴を行いました。

2. 他カートリッジとの比較試聴方法

ZYX R100-EX と Ortofon 系のカートリッジとの比較試聴を 3 回に分けて行うこととし、今回は、SPU GE と Kontrapunkt A を対照に選びました。トランスは Ortofon の ST-7 を使用し、トランスから iPhono への接続はノイマンのケーブルを使用します。

3. 他カートリッジとの比較試聴結果

SPU GE は手持ちの Ortofon 系のカートリッジの中ではもっとも古いもので、G シェルから取り出して Ortofon のシェルに取り付けています。年代が古いだけあって、レトロな印象は免れませんが、トランスと iPuifier DC の効果でかなり表現力が向上しています。しかしながら ZYX R100-EX の艶っぽいところに及ばず、解像度が劣ります。

Kontrapunkt A では、これまでの印象では元気は良いのですが、少し音が粗めの印象でした。今回、iPuifier DC の効果かそういった感じはかなり和らいでいます。しかしながら ZYX R100-EX の艶っぽいところに及ばず、さっぱり系の音になります。

4. まとめ

年代が古い SPU GE も、価格の安い Kontrapunkt A もトランスと iPuifier DC の効果でかなり満足できる音質になってきていますが、R100-EX の艶っぽい音の魅力には及びません。

以上